

教える内容

発展的な内容

基礎・基本

II

学習指導要領の内容

- 全員に対して共通に指導する内容

※ 必要に応じて示している内容以外の発展的な内容を教えることも可能

各教科等で育むべき力の例(案)

発展的な指導・課題学習の充実

● 確かな学力

○ 基礎的・基本的な知識・技能

- ・知識技能の体験的な理解と実生活への活用を重視
(例:言葉・数量・図形、社会的事象、自然現象、人間や文化の学習)
- ・概念や原理・法則の理解を深め、知識・技能の体系化・活用を重視
(例:生命や粒子等の概念、民主主義や法の内容)
- ※ 上記のうち反復学習や暗記暗誦が定着に有効なもの
(例:漢字の読み書き、乗法・九九などの計算、都道府県名、有名な古典の一節)

○ 自ら学び自ら考える力

- ・情報を得、思考・表現する力
(例:読んだことを基に、A4一枚で自分の考えをわかりやすく表現)
- ・仮説を立て、観察・実験、討論・論証する力
(例:情報を整理し、分類し、関連付け、表・グラフ・図にまとめる)
- ・体験から感じ取ったことを表現する力
(例:感じ取ったことを言葉や歌、絵、身体で表現)
- ・学習意欲や学習習慣
(例:読書習慣)

● 豊かな人間性

○ 道徳的価値

- ・自分自身に関すること
(例:生活習慣、人生の目標と希望、勇気、誠実さ)
- ・他者とのかかわり
(例:礼儀、人間愛、友情、個性の尊重)
- ・集団や社会とのかかわり
(例:集団生活、規範意識、勤労、世界の中の日本人としての自覚)
- ・自然や崇高なものとのかかわり
(例:生命の尊重、自然の偉大さ、美への感動)

○ 自主的・実践的な能力や態度

- (例:自然体験、社会体験、生活体験、文化芸術体験、コミュニケーション能力の育成)

● 健やかな体

○ 健康の保持増進

- (例:食事、睡眠、運動、身の回りの環境や危険への対処)

○ たくましい心身

- (例:集中力、持続力、柔軟性、巧緻性、競争や共同の経験、公正な態度)

「生きる力」の主要例(案)

主体性

- 判断力・課題解決力
- 計画力・人生設計力
- 権利と責任
- 健康や体力

自己と他者との関係

- 人間関係構築力
- 協調力・他者の尊重
- 集団内の利害調整力

個人と社会との関係

- 言語・技術・情報活用力
- 課題発見力
- 感性・想像力・鑑賞力
- 文化理解

発達段階に応じた指導

小学校
低・中
学年

小学校
高学年
中学校

具体物を活用した
体験的な理解

討論・実験・表現に
よる思考力育成

反復学習や暗記
暗誦の重視

(体験と理論の往復
概念や方法の重視)

「生きる力」

実社会

基礎的・基本的な知識・技能を徹底し、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を身に付けさせるため、教える内容、各教科等で育むべき力、「生きる力」との関係をどのように捉えるべきか？